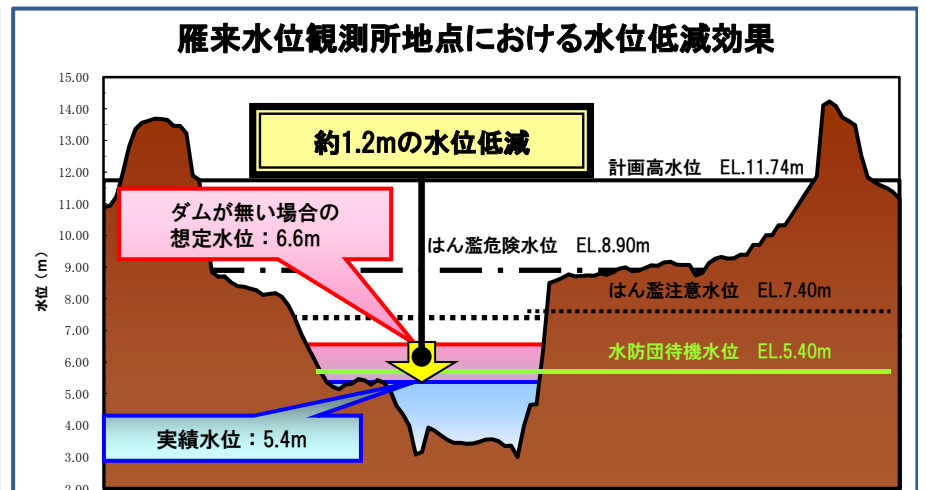
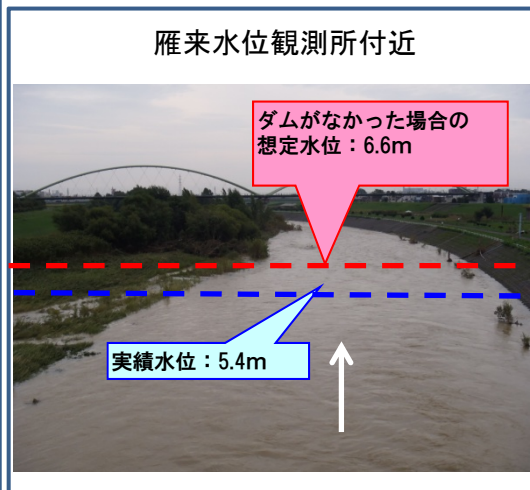
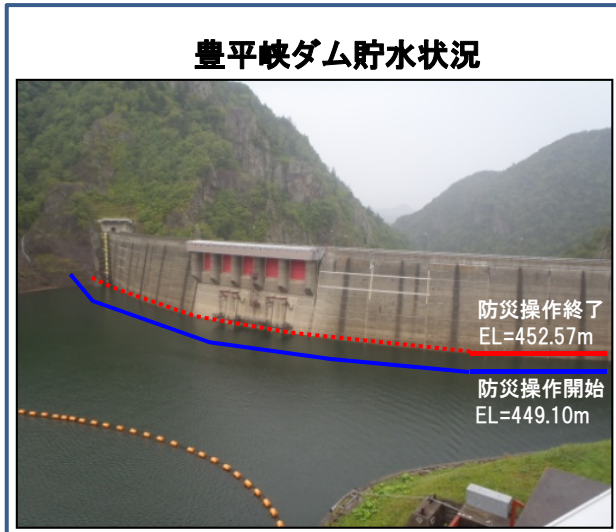
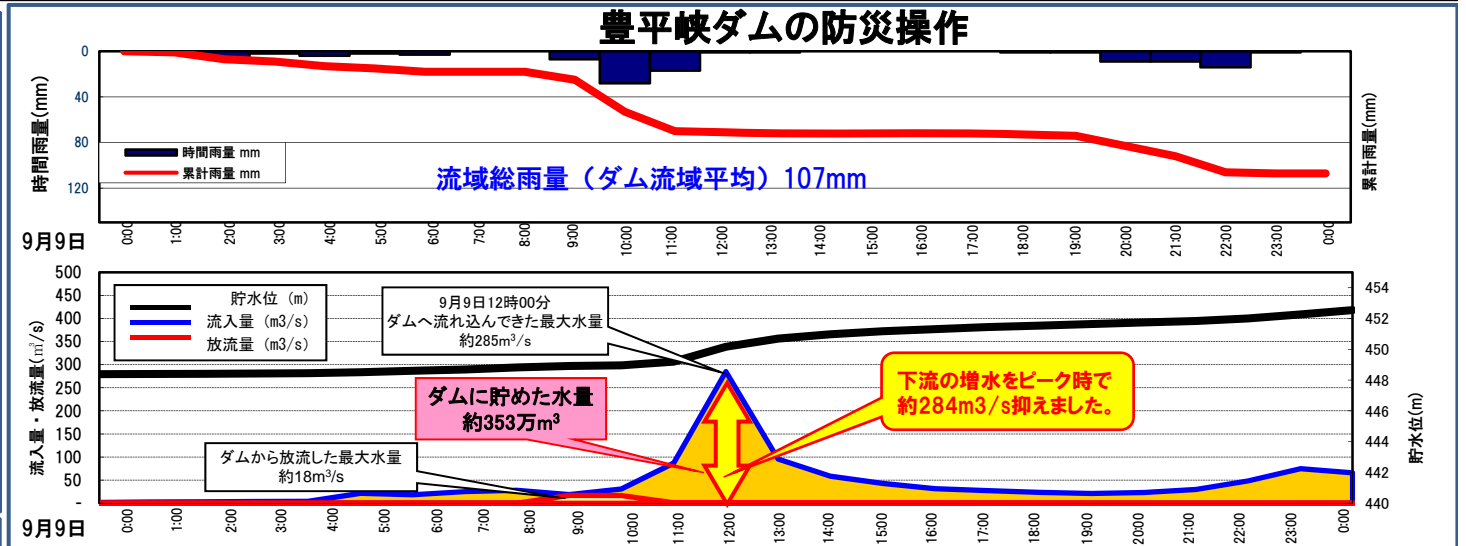


ほうへいきょう 豊平峡ダムの防災操作と効果 (平成24年9月9日)

とよひら ~豊平川の水位を約1.2m低下~

- 平成24年9月9日からの雨により、石狩川水系豊平峡ダム上流域では総雨量107mmを観測し、ダムへの最大流入量は約285m³/sの流入量を記録しました。
- 今回の防災操作において、ダムでは約353万m³ (札幌ドーム約2個分)の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で284m³/s (約10割)低減させました。
- この結果、ダム下流の雁来水位観測所地点 (札幌市北13条大橋付近) では、水位を約1.2m低下させ、水防団待機水位の超過を抑えることが出来たと推定されます。



定山溪ダム^{じょうざんけい}の防災操作と効果^{いしかり} (平成24年9月9日)

とよひら
～豊平川の水位を約0.4m低下～

- 平成24年9月9日からの雨により、石狩川水系定山溪ダム上流域では総雨量39mmを観測し、ダムへの最大流入量は約77m³/sの流入量を記録しました。
- 今回の防災操作において、ダムでは約6万m³(札幌ドーム約0.4個分)の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で74m³/s(約10割)低減させました。
- この結果、ダム下流の雁来水位観測所地点(札幌市北13条大橋付近)では、水位を約0.4m低下させることが出来たと推定されます。

